

2016年10月24日

東急ファシリティサービス株式会社

災害シナリオ非公開型演習により事業継続能力を向上 ～被災時における関係会社との緊密な連携を構築～

東急ファシリティサービス株式会社（本社：東京都目黒区、社長：高橋 俊之）は、2016年10月7日、近い将来発生が予想されている首都直下地震に備え、田園都市線たまプラーザ駅直結の商業施設「たまプラーザ テラス」において、施設関係者の防災意識の向上を図るとともに、共助の必要性をあらためて認識し、連携体制を強化することを目的として、関係各社との合同演習を実施し、約20名が参加しました。

この演習は、参加者にあらかじめ災害シナリオを公開するのではなく、演習時に災害規模や実際の施設環境に即した被害状況等の情報を通知するため、より実践に近い経験を積むことが可能な形式で実施しました。参加者は、負傷者、設備、ライフライン等の情報を正確かつ迅速に把握し、被害状況に適切に対処することが求められるため、有事の際に必要な応用力や運用力の向上につなげる活動です。

また、この演習を通じて各社のノウハウを結集させることで、施設全体の危機対応力の強化にもつながりました。



当社は、被災時におけるお客様の事業継続および早期復旧に貢献するため、さまざまな演習を継続して実施し、洗い出された課題を改善していくことで、全社的なBC活動を推進してまいります。

【本件に関するお問合せ】

経営統括室 総務部 総務課 （担当：中嶋・遠藤）

TEL：03-5722-1111 FAX：03-5722-1138